

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

「俳優の夢と税金の現実」

目黒区立目黒中央中学校 三年

海老根 誠也

僕には将来の夢があります。それは、俳優になることです。映画やドラマ、舞台で人の心を動かせるような演技ができる俳優に、ずっと憧れきました。これまで、「夢を叶えるには演技の力を磨けばいい」と思っていました。でも、税金の資料を見てから、その考え方方が少し変わりました。俳優になるためには、演技力だけでなく、社会の一員として税のことも理解しておく必要があると気づいたのです。

資料では、税金が私たちの生活のさまざまなところに使われていることを学びました。道路や病院、学校、消防、警察など、多くのものが税によって支えられていると聞いて驚きました。そしてさらに調べてみると、俳優として活動する中でも税金はとても深く関わってくることが分かりました。

俳優という職業は、会社に雇われるのではなく、個人で仕事をする「個人事業主」として働くことが多いそうです。つまり、毎年自分で収入をまとめ、確定申告をして税金を納めなければいけません。僕は今まで「税金は自動的に引かれるもの」と思っていたので、自分で手続きするという話を聞いてびっくりしました。し

かも税金を正しく納めていなかつた芸能人がニュースになることがあります。夢を叶えた後も、社会人としての責任を果たすことがとても大切なのだと思いました。

また、税金は芸術や文化を支えるためにも使われていることを知りました。たとえば演劇や音楽などの活動を応援するための助成金公共のホールや劇場の運営なども税金によって成り立っています。思い返してみると、僕が小学校のときに学芸会をした体育館も、舞台を使わせてもらった市民会館も、すべて税金で作られた場所でした。知らず知らずのうちに、僕は税金に支えられて演技の楽しさに出会っていたのだと思うと、ありがたい気持ちになりました。

税金はただの「お金」ではありません。それは、社会の中でみんなが支え合うための仕組みです。病気になつた人を助けたり、災害で困っている地域を支えたり、未来の子どもたちの教育を守つたりするために、使われているのです。僕も将来俳優として仕事をする中で、自分が納める税金が誰かの役に立つていると実感できたから、きっと誇らしい気持ちになると思います。

夢を追いかけることは大切です。でもその夢の先には、社会で生きていく責任もあるのだと、今は思います。俳優になって有名になることだけを目指すのではなく、税のしくみや働くことの意味をきちんと理解したうえで、社会に貢献できる人になりたいです。税金について学ぶことは、将来への準備のひとつだと思います。僕はこれからも夢を大切にしながら、税についての知識も深めていきたいです。そして、いつか俳優として活躍していきたいと思います。